

Think  
Sense  
Study  
Action

内田直之が、「考えたこと」「感じたこと」「学んだこと」「行動したこと」を皆様にお伝えする紙上ブログです。

**ボランティアスタッフを募集しています!**

政策や活動に共感して頂けるボランティアスタッフを募集しています。ご都合の良いお時間だけで結構です。メールやお電話で、お気軽にお問い合わせ下さい!!

uchida  
naoyuki  
.com



自民党

**内田直之が考えたこと**



**スポーツで  
地域をつなぐ!**

**スポーツの社会的意義とは?**

平昌冬季五輪では日本勢の健闘に大興奮でした。特にフィギアの羽生結弦選手やスピードスケートの小平奈緒選手や高木菜那選手には、試合後の振る舞いやコメントにも感動してしまいました。この様に、スポーツは人生をより豊かにし、身体的・精神的な欲求を満たす、誰もが楽しめる世界共通の文化です。子どもにとっては、体力の向上や責任感、規律、コミュニケーション能力を育成し、豊かな人間性や思いやりの心を育みます。また、成人・高齢者にとっても、健康の保持増進や体力の向上、ストレス発散、そして生活習慣病の予防、生きがいとして貢献しています。

今やスポーツは、健康で文化的な生活を営む上で欠かすことが出来ないものであり、現在社会においては、政治的、経済的にも影響力を持つまでになりました。平昌オリンピックでは、過去に例がない程の韓国・北朝鮮による政治利用に、批判の声が殺到しました。

**スポーツを通じた地域コミュニティ**

これら社会的意義のなかで、私が特に注目しているのは、スポーツを通じた地域コミュニティの活性化です。人口減少や人口流動、職住分離、価値観の多様化といった社会的変化に伴う地域コミュニティの衰退は、大きな社会問題となっています。

スポーツを通じて人々が交流を深めていく事は、地域における連帯感や活力の醸成に大きく貢献できると思います。住民相互の新たな出会いや共通の目標達成に向けた努力により、地域に誇りや愛着を感じることができるよう。スポーツは、社会的地位や年代か

ら解放され、純粋な交流を育むこともできるのです。

**千代田区の課題とスポーツ政策**

それでは千代田区にけるスポーツを取り巻く環境はどうでしょうか。これまでの世論調査では、整備・充実すべき施設として「スポーツ施設」が毎年上位にランクされ、いかに熱望されているかが伺えます。一方、東京都による児童・生徒の体力・運動能力調査では、変化も見られます。以前の千代田区は、多くの項目で東京都や国の平均を下回っていました。しかし、最近は東京都や国を上回り、男子は都ではトップクラスに位置してきました。スポーツ環境の整備や各小学校の努力が、明らかに

成果として表れてきて来たと思います。

それでも、子どもから高齢者まで日常的にスポーツを行う環境が充分でないことは明らかです。都心に位置する千代田区では、スポーツの場を確保する事は何よりも困難であり、施設の取り合いも大きな課題となっています。

2020年東京オリンピック・パラリンピック大会を契機に、ソフト・レガシーとして、生活に密着したスポーツが更に普及し、文化としてのスポーツが確立されていくと思います。私はこれからも、未来を担う子どもから高齢者までが、身近でスポーツに親しめる環境づくりに、取り組んで参りたいと考えています。

**1. 外濠公園総合グラウンドの整備**

区内唯一の屋外施設である外濠公園総合グラウンドは、コンディション不良や養生により、年間150日間も利用できない状況です。人工芝化により利用日数を160%拡大できます。

**2. 区立スポーツセンターの整備**

開設から40年以上が経過し施設の老朽化が顕著です。区民の皆様が気軽にスポーツを楽しめるような総合施設が必要であり、最も現実的な現地での建替えを推進します。

**3. 児童遊園をスポーツ公園へ(5か所)**

児童遊園は今や喫煙場と化しています。地域ニーズや立地状況を勘案し、サッカーやキャッチボール、介護予防・健康向上などの機能を有したスポーツ公園への再構築を推進します。

**4. スポーツボランティアの育成**

スポーツクラブや団体の日常活動や、国際競技大会や地域スポーツ大会等の運営を支えるスポーツボランティア(仮称)千代田スポボラを育成します。

**5. グラスルーツの推進**

「JFAグラスルーツ宣言」の趣旨に賛同し、「引退なし」「補欠ゼロ」「障がい者も」を推進します。サッカーに限らず、あらゆるスポーツの環境改善に取り組みます。

**内田直之が  
推進する  
スポーツ政策**

**Think**

**Study**  
**内田直之が学んだこと**

**萩生田幹事長代行と  
工藤校長先生、学校教育を語る!**



これまで「スクールニューディール政策」を掲げ、教育環境向上に取り組んでこられた萩生田光一幹事長代行。一方、学校を人材育成の場と位置付け「麴中メソッド」を柱に、様々な学校改革を推進する工藤勇一校長先生。教育のスペシャリストの対談が実現しました。

工藤校長先生からは、公立中学校が抱える様々な課題に対し、麴中塾の実践や宿題を廃止する理由、教員のあり様などがご説明されました。「公立学校の目指すモデルにしたい」という熱い想いに対し、萩生田幹事長代行は、区立麴町中学校の視察をお約束して下さいました。

**Sense**  
**内田直之が感じたこと**

**野中広務先生を偲ぶ。**



1月26日に野中広務先生がご逝去されました。京都府園部町出身で、旧制中学校を卒業後国鉄大坂鉄道局に就職され、その後陸軍に召集。終戦後は復職され、園部町議会議員、園部町長、京都府議会、京都府副知事など地方政治に携わられました。衆議院議員となられてからは、自治大臣、内閣官房長官、自民党幹事長を歴任され、2003年に政界を引退されていました。

これまで何度かお会いする機会がありました。私のような未熟なものに対しても、背筋をピンと伸ばされ、丁寧に優しい口調でお話して下さいました。「しっかり勉強して、人のために働いて下さい。」と言われた事を覚えています。

「政治は弱い人のためにある。」という先生の言葉をこころに刻み、これからの議員活動に取り組んで参りたいと思います。謹んで、ご冥福をお祈りいたします。

**Study**  
**内田直之が学んだこと**

**「内田直之区政報告会2018」を開催!**

ベルサール神田にて区政報告会を開催致しました。今回は千代田区の重要課題として①待機児童対策、②スポーツ環境の整備、③ふるさと納税の影響について、また、街づくりニュース、視察レポートとして「ビルバオの都市再生について」ご報告させて頂きました。4月にはタウンミーティングを開催します。皆さまのご参加を心よりお待ちしております!(案内同封)

**Sense** **世界の街歩き**

**バンコク(タイ王国)**

人口 825万人  
面積 1569km<sup>2</sup>  
立憲君主制

30年程前に初めての海外旅行先がタイでした。以降ひとり旅に夢中になり、37か国の街々を訪れましたが、その原点がバンコクです。海外赴任先でもあり、今でも毎年訪れている、故郷のひとつ

もあります。在留日本人約4.6万人に長期滞在者が数万人いるとも言われ、千代田区と同じ位の日本人がバンコクに住んでいるそうです。シンガポールやジャカルタと並び東南アジアを代表する大都会であるバンコクは、相変わらず渋滞が凄くことになっています。タクシーは乗車拒否が多く、安くて速いバイクタクシーは危険で、特に女性にはお勧めできません。最近では公共交通が急ピッチで整備されてきて、BTS(高架鉄道)

や地下鉄が便利になってきました。物価も高騰し街も清潔とは言えませんが、それでもバンコクは魅力溢れる街です。微笑みの国と言われ、親日で明るく、意外にも規則正しい国民性は、日本人にはとても心地よいです。食事も美味しく、都心を少し離れたら、緑豊かでのんびりとした田園風景が広がります。かつて「東洋のベニス」と称えられたバンコクは、私にとって大切な街であり続けたいと思います。



# 「東京2020オリンピック・パラリンピック」と「地域交通政策」について、質問を行いました。

## 1. 地域に残るレガシーとは？

【問題の背景】 1964年の東京オリンピックは、敗戦から復興した東京を世界にアピールすべく、大胆な都市機能の更新を行いました。代々木競技場や日本武道館などのスポーツ施設、ホテルオークラや東京ヒルトンなどの都市型ホテルが建設されました。とりわけ象徴的で現在も都市の大動脈として機能しているのが、首都高速道路や環状7号線、そして東海道新幹線です。一方では、東京オリンピックを契機に、新たな産業として民間警備会社やファミレス、ママさんバレーの普及による女性の社会進出など、多くの社会的変化を生み出しました。

サッカーリーグに続き、バレーボールやバスケットボールなど十種類以上のスポーツにおいて日本リーグが結成されました。また、水泳、体操を中心としたスポーツクラブが全国に普及し、幼児から主婦、高齢者まで幅広い人々が参加するなど、まさにスポーツが生活の一部となる契機となったのでした。

成熟した先進国におけるオリンピックでは、開催意義が強く問われ、ソフト・レガシーが重要となってきました。また、障害のある方への理解を深め、共に助け合い、支え合う共生社会も実現しなければなりません。

### 【質問】

千代田区では東京2020大会を契機に、どのようなソフト・レガシーを残すべきと考えているのか。また、区が考えるパラリンピック開催の意義とソフト・レガシーについて見解は？

### 【区（執行機関）の答弁】

区民に身近な場所で多くの競技が行われ、目標や記録に挑戦するアスリートの姿が、区民をはじめ世界中の多くの方々に感動や勇気、希望を与え、障害者スポーツについては障害者に対する認識を深め、障害者への理解が進み、共生社会の実現への一歩が、パラリンピックの意義と考える。このように、成熟した社会の中で多様な方々が社会の一員として相互に攻勢を尊重しあい、相互に認め合う共生社会の実現に向け、次代を担う子どもたちが、パラリンピックや障害者スポーツを通じて様々な学びや体験、ふれあいを経験する中で、障害のある人への理解を深め、共に助け合い、支えあって生きていく力を身に付けることが千代田区のソフト・レガシーの初めの一歩であると考えています。

## 2. 千代田区スポーツボランティアの提案

【問題の背景】 2012年のロンドン大会では、「ゲームズ・メーカー」と呼ばれる7万人も及ぶ大会ボランティアが、通訳・観客サポート、競技サポート、メディアサポートなどに従事し、大会成功に大きく貢献しました。大会終了後、ボランティアのデータベースは「チーム・ロンドン」と名を変え、ロンドン市に引き継がれました。人材レガシーとして大会が終わった後も、地域のボランティアニーズと担い手をマッチングする機能を提供しています。大きなスポーツイベントから学校・地域コミュニティのイベントまで活躍の場は広がり、登録者数は増え続けているそうです。

千代田区の人口は順調に増加しているものの、地域コミュニティの衰退は大きな課題となっています。地域を支えるボランティアの育成が急務です。

私は「チーム・ロンドン」の事例を参考にした、千代田区独自の「スポーツボランティア」の育成が有効と考えます。

### 【質問】

ソフト・レガシーのひとつとして、千代田区のスポーツを支える人材を育成する「千代田区スポーツボランティア」事業を提案する。更に、スポーツボランティアは、地域コミュニティの再生にも貢献できるものとする。

### 【区（執行機関）の答弁】

東京2020大会を契機に、スポーツ活動の機会が今後増加していくことになれば、サポートを行う人材の確保が必要になってくる。今後、現行のスポーツ推進委員の確保やスポーツ指導者人材バンク制度の周知改善に努めるとともに、議員ご提案のスポーツボランティア制度についても、地域コミュニティの向上という観点からの活用も考えられることから、東京2020大会でのボランティア制度や他の自治体における活動状況などを踏まえて研究していく。

## 3. 地域福祉交通「風ぐるま」の現状と課題

【問題の背景】 これまでの「風ぐるま」の歴史を振り返ってみました。昭和50年代初旬に、区の施設間をつなぐ直営の施設循環バスが、30人乗り小型バスにて運行を開始しました。昭和60年頃には、施設循環バスを福祉バスに転換し、福祉に特化した小型バス2台と7人乗りキャブワゴン1台での運行となりました。平成9年には地域福祉タクシー「風ぐるま」にリニューアルされ、9人乗りハイエース6台での運行となりました。そして平成28年には、経路や本数を見直した地域福祉交通「風ぐるま」が、小型バス6台にて運行され現在に至っています。



「かがやきプラザ」の高齢者活動センター利用者を中心に、「風ぐるま」の利用者は大幅に増加しています。また、福祉施設や出張所、スポーツセンターの利用や、JR、地下鉄など、公共交通機関の駅までの足としても利用されています。高齢者が中心とは思いますが、小さなお子さん連れのお母さんも見かけるなど、多様な目的で利用されており、地域交通として、定着していると思われます。一方では、リニューアルから約2年が経過し、利用者の皆様からは、運行に関して様々なご意見やご要望を届いているのではないかと思います。

### 【質問】

地域福祉交通「風ぐるま」は、リニューアルをして約2年が経過した。これまでの運行状況や利用目的、ご意見やご要望、区として認識されている課題を問う。

## 千代田コラム

### 東京駅丸の内広場

昨年の12月に東京駅丸の内広場がオープンしました。赤レンガ造りの丸の内駅舎や皇居へと続く幸通りと調和した景観へと整備されました。駅舎正面の「丸の内中央広場」(6500㎡)は白を基調とした御影石で舗装され、両側にはケヤキが列植されています。また、デザイン性の高い照明は明るさが抑えられ、昼間とは違った落ち着いた雰囲気が楽しめます。夏には水場も設け1200㎡の芝生とともに路面温度の上昇を抑えるそうです。



太田道灌が江戸城を築城した15世紀は、丸の内から日比谷は、松原が美しい海でした。江戸時代には大名屋敷が立ち並びますが、明治維新後は大名たちが地元へ戻り、荒れ果てた廃墟が広がっていたと言われています。わずか100年前までは、治安も良くない草原だったとは驚きです。

一時は新宿副都心などの台頭により地盤沈下も指摘されましたが、2000年以降は再開発が加速し、世界有数の経済・金融エリアとなりました。お会いしたことはありませんが、近くには、20名程の方が住んでいるみたいです。大手町に住んで千代田小学校に通うなんて素敵ですね。



### 【質問】

「風ぐるま」には二つの役割が求められており、現状は中途半端な立ち位置である。福祉バスとコミュニティバスの機能を明確に分離すべきではないか。千代田区の地域交通政策とコミュニティバスの導入を、全庁的に検討すべきと考える。

### 【区（執行機関）の答弁】

風ぐるまは、高齢者や障害者、また子育て中の方をはじめとする区民のための地域福祉交通として、長く親しまれてきたものと認識している。新たな運行になってから、多様な目的での利用も増えて利用者は倍増している。福祉施設等を利用する区民の足だけではなく、コミュニティバスの要素も備えて、より定着してきたものと思っている。

公共交通の空白地帯を埋めるという視点での新たなコミュニティバスを導入するという必要性は、本区においては低いと考えている。引き続き主として交通弱者への福祉目的の交通手段としての位置づけで運行し、その観点から必要な見直しをしていく。しかし、東京2020大会を迎え、区内の観光目的での移動やオリンピック会場への移動も見据えた地域交通ネットワークのあり方について、あらゆる角度から考える必要は認識している。課題が多く検討には時間を頂きたいが、地域交通政策を全庁的に検討していく。

### 【区（執行機関）の答弁】

風ぐるまの経緯は、議員ご指摘の通りである。利用目的については、アンケート調査によると、約半数の方々が区の施設に行くためと回答されている。寄せられている意見やご要望の中で多いのは、逆ルートの設定や運行本数の増などである。また、ルートをもっとシンプルにして欲しいとの要望の一方で、もっと多くの場所を回って停車して欲しいとの要望があるなど、様々なご意見やご要望がある。これらを調整し、より多くの方々にとって利用しやすいものとなるよう、ルートや停留所、ダイヤなどについて見直すための仕組みづくりが課題と考える。

## 4. 地域交通政策とコミュニティバスの提案

【問題の背景】 「風ぐるま」には、大きく2つの役割が求められています。ひとつは、移動弱者や移動要援護者など高齢者や障害者の足としての役割です。福祉施設間を循環するだけでなく、もっときめ細かい要望に応えられる、以前の地域乗合タクシーが最適ではないかと考えます。通院や日常生活に必要な買い物、外出支援などの福祉の観点から、新たな方策を探るべきだと思います。デマンドバスなども有効です。

ふたつ目は、千代田区の観光やコミュニティ活性化としての地域交通としての役割です。近隣区では、港区の「ちいばす」、中央区の「江戸バス」、新宿区の「WEバス」、台東区の「めぐりん」、文京区の「b-ぐる」などのコミュニティバスが運行されています。千代田区でも観光スポットや商業施設、JR等を結ぶコミュニティバスが必要であると考えます。

東京2020大会を控え、福祉のみならず、観光振興、地域やコミュニティの活性化、更には環境施策やモビリティ・マネジメントまでも包括した、地域交通政策の再構築が必要です。これまで「風ぐるま」は保険福祉部が所管していますが、環境まちづくり部、地域振興部も含めた、全庁的な検討が必要であると考えます。

## 街づくりへ、プロの視点。

### 内田直之(うちだ なおゆき)

1964年、熊本市生まれ B型。  
1984年国立有明専ら建築学科を卒業、トステム株式会社(現LIXIL)入社。総合企画室主任、海外赴任(バンコク)を経て商品企画室長となり、主力商品の経営戦略・商品戦略、多くの開発プロジェクトに携わる。働きながら明治大学公共政策大学院を修了。2011年より千代田区議会議員。一級建築士。

#### ●学歴

国立有明専ら建築学科 卒業  
明治大学公共政策大学院 修了

#### ●職歴

トステム株式会社(現LIXIL) 25年間勤務

#### ●所属団体

千代田区サッカー協会 会長  
千代田区軟式野球連盟 顧問  
千代田区相撲連盟 顧問  
明治大学 校友会千代田区地域支部 副支部長  
明治大学 危機管理・コミュニティ持続研究C 客員研究員  
社会保険労務士会千代田支部 顧問  
公益財団法人 京葉鈴木記念財団 顧問  
社団法人 東京建築士会  
NPO法人 Football Community 千代田 顧問  
NPO法人 電線のない街づくり支援ネットワーク

#### ●内田直之事務所

〒101-0065千代田区西神田3-5-3 2212  
Tel/Fax 03-5212-5222  
Web www.uchidanaoyuki.com  
e-mail uchida@tcn-catv.ne.jp

## 活動フォトギャラリー

### ▼区政報告会



▲都並敏史サッカー教室



▲神田明神節分祭豆まき式



### ▼ブライドサッカー体験会



▲千代田区議会定例会